

<白金標準、需給相場を無視し、金価格や金融要因を意識・・・>



(出所：オアシス)

BHP がアングロ・アメリカの買収に失敗し、アングロ・アメリカ・プラチナのスピノフが消え、南アフリカ総選挙で与党 ANC が 30 年ぶりに過半数を割り込むなど自国通貨ランド安の動きや北米自由貿易協定 (NAFTA) を結ぶメキシコで大統領選や上下議会選で左派与党が躍進し、憲法改正を行う可能性が強まり、メキシコペソは選挙以降 7% の下落を行い、代表的な株価指数は金融危機以来の大幅下落を行っている。また米国では ISM 製造業景気指数が低下するなど景気低迷観測が強まるなど 5100 円まで下げていた白金標準先物は、週末の中国人民銀行の金保有高が伸びを消し金価格の下落が始まると 5000 円を割り込み、また雇用統計でサプライズな結果を受けた金価格の大幅下落で 5 月 8 日以来の 4900 円を割り込む 4868 円まで下値を模索している。しかし金価格と違い、白金価格は需給バランスで 2 年連続の供給不足を JM 社や WPIC が予想するなど需給はタイトであり、金融要因だけで売られ続ける根拠は乏しいと思える。特に JM 社は 6 月 9 日、WPIC は 13 日に需給報告を行っており、現在の価格水準は需給を織り込む以前の価格水準であり、売られ過ぎの域と思える。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が下げながら、**シグナル** も下げている。また RCI は **短期** が下げ渋り、**中期** は切り下げしており、**短期** が **中期** を上回るクロスを待って新規買いが妥当と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,445,000 円(2024 年 6 月 10 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 71,280 円(2024 年 6 月 10 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>